

第2回 第三国研修「保全地域における参加型ガバナンスとエコツーリズム
のための協働管理能力の強化」開講式挨拶(仮訳)

2025年2月10日
JICA コスタリカ 所長
吉田 憲

国家自然保護区システム(SINAC)事務局長 ダビッド・チャバリーア様
環境エネルギー省 副大臣 ホルヘ・ロドリゲス・スニガ様
駐コスタリカ日本国特命全権大使 有吉 勝秀閣下
外務宗務省 国際協力局長 セルヒオ・ビノクール・フォルニエリ様
国家計画経済政策省(MIDEPLAN) 三角協力担当 フアン・カルロス・
フォンセカ・ロドリゲス様

そして、アルゼンチン、ボリビア、チリ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、ドミニカ共和国からお越しの参加者の皆さま、おはようございます。コスタリカへようこそお越しくございました。

このたび「第2回 第三国研修 保全地域における参加型ガバナンスとエコツーリズムのための協働管理能力の強化」の開講式に際し、JICA コスタリカ JICA を代表してご挨拶申し上げます。

まず、本コースの運営にあたりご尽力いただいた SINAC の学術・事務チームの皆さまに心より感謝と敬意を表します。併せて、本研修に参加いただいた皆さまを心より歓迎申し上げます。

JICA はこれまで、ラテンアメリカ・カリブ地域において自然生態系の保全に関するさまざまなプロジェクトを実施してきました。

例えば、本日ご参加いただいている国々においては、

- ・ アルゼンチンではレンジャー育成プログラム
- ・ エルサルバドルではオロメガ湖およびホコタル湖の保全
- ・ ホンジュラスでは生物回廊事業
- ・ パナマでは運河流域の水源保全
- ・ ドミニカ共和国ではコミュニティ・ツーリズムの推進

- また、中央アメリカ統合機構(SICA)加盟国における国境を越えた生態系保全プロジェクト

などに取り組んできました。

今回、これらの取り組みの延長線上に、コスタリカ政府との協力のもと、保護地域における参加型ガバナンスとエコツーリズム推進のための「第三国研修」としてこのコースを開講することとなりました。

「第三国研修」とは、日本がこれまで協力してきた国の開発経験や知見を生かした支援に加え、近年発展著しい各国の経験や知識も共有し、地域内でさらなる発展を目指す取り組みです。本コースでは、コスタリカの経験を学ぶだけでなく、参加国同士の知識・経験交流の場にもしていただきたいと考えています。

ご存知のとおり、保護地域は生物多様性保全に不可欠であり、人間社会と切り離すことなく、社会の一部として管理していく必要があります。ここに、参加型ガバナンスと協働能力の重要性が生まれます。また、最近では「OMEC (Otras Medidas Efectivas de Conservación)」、すなわち保護地域外での生物多様性保全の取り組みも注目されており、2030年までに地球上の30%を保全する「昆明・モンリオール生物多様性枠組み」の達成においても不可欠な要素となっています。

さらに、保護地域が周辺地域住民に利益をもたらさなければ、地域社会の支援は得られません。そのため、エコツーリズムは、保護地域が提供する生態系サービスを持続的に活用する一例として非常に重要です。

今回の約3週間にわたるコスタリカ滞在を通じ、コスタリカが長年積み重ねてきた生物多様性保全の成功事例や、時には失敗から得た貴重な教訓を学んでいただきたいと願っています。同時に、コスタリカ側にとっても、皆さまとの意見交換を通じて新たな知見を得る機会となることを期待しています。

最後に、今回の研修を通じて、各国間で専門家ネットワークを築いていただき、また帰国後には、学びを基に行動計画を策定し、それを各国のJICA事

務所と共有しながら、具体的なプロジェクトの実施につなげていただきたいと考えています。

皆さまの研修が実り多いものとなることを心より祈念し、私の挨拶といたします。

ご清聴ありがとうございました。

以上